

授業科目名 (英訳)	特殊研究 I Special Research Project I					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 関係教員				
	配当学年	3 回生	単位数	2	開講年度 開 講 期		H27 通年	曜 時 限	授業形態	演習	使用言語
【授業の概要・目的】											
<p>特殊研究 I では個々の専門軸に関する知識の社会実装ともいべき「修」の段階に入る。すなわち、特別研究 I、II で身につけた研究基礎力や学識などをベースに自ら選んだ専攻分野における研究能力を増進させるとともに、八思学修を通じて人類や社会システム、地球社会などにおける今日的な課題の所在を理解させて、「総合生存学」にかかわる自らの課題設定へと導き、さらには、その解決への実践を通じてグローバルリーダーとしての素養を修得させる。またプログラム履修に必要な八思科目については、医薬・生命、情報・環境、理工、人文・哲学、経済・経営、法律・政治、芸術、語学の 8 分野のうち専門分野を除く 7 分野について、2 科目ずつ合計 14 科目を取得させる。年度末に第 2 次博士論文研究基礎力審査を課す。</p>											
【到達目標】											
<p>八思科目について 7 科目(14 単位) 以上の単位を取得する。学位論文の草稿を A4 用紙 100 枚程度にまとめる。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>特別研究課題についての研究を継続するとともに、4 年次のフィールドワーク、5 年次の PBR について教育指導教員を中心に、研究指導教員、研究指導委託教員、メンター教員とともに議論を重ねたうえ、希望するフィールドワーク先と交渉を行う。フィールドワークに向けて英語力の向上に取組み、TOEFL-ibt100 点以上を目指す。90 点以上を第 2 次博士論文研究基礎力審査の条件とする。さらに「京都大学大学院思修館」プログラムの履修に必要な八思科目の 14 科目取得についても第 2 次博士論文研究基礎力審査合格の条件である。</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>フィールドワーク計画の発表会や特殊研究進捗状況発表会等により評価するとともに学年末に第 2 次博士論文研究基礎力審査(論文調査委員会による論文審査並びに論文発表会)を実施し、2 年後の学位論文の完成見通しの観点から評価する。更に八思科目のほか、総合生存学館の提供している科目から 44 単位取得しているかも確認する。</p>											
【教科書】											
【参考書等】											
【授業外学習(予習・復習)等】											
フィールドワークに向けた事前学習。											
【その他(オフィスアワー等)】											